

こんにちは。私たちは、労働組合や中小業者、農民、女性、青年、医療、法律団体などで作る「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかに共同センター」です。いま、安倍政権による憲法9条などの改憲を許さず、憲法が生きる社会をめざそうと、3000万人を目標にした署名にも取り組んでいます。ご協力をお願いします。

皆さん、日本共産党の田村智子議員が11月8日の参院予算委員会で、首相主催の「桜を見る会」について追及しました。それからモミジの時期なのに、国会では「桜」が満開となりました。

驚いたことに、「桜を見る会」の参加者数・支出額は年々増え続け、2019年の支出経費の約5700万円は予算額の3倍に。「功労・功績のある方」を各府省が推薦するとしながら、安倍首相後援会員850人が参加。さらに、自民党推薦枠が6000人、安倍首相枠1000人、そして「私人」の昭恵夫人の推薦枠もあったことが明らかになりました。そして、招待者の名簿を日本共産党の宮本徹議員が資料要求した日に、大型シュレッダーで破棄したことも明らかになりました。安倍政権得意の証拠文書の隠ぺいです。

そして、安倍首相後援会は会費5000円でホテルニューオータニで前夜祭を行い、翌朝はバス17台で会場に移動し、開門前にチェックもなく入園し、安倍首相と記念写真撮影とか。前夜祭は後援会が主催なのに、後援会の収支報告に一切記載なし。豪華なホテルでの前夜祭は会費5000円で済むわけがありません。差額は誰が負担したのでしょうか。まさに、安倍首相の公的行事も税金も私物化している実態が明らかになって来ました。森友・加計学園疑惑等々、政治の私物化をすすめただけでなく、税金・公的行事の私物化までとは呆れてしまいます。これらは、公職選挙法と政治資金規正法違反の犯罪です。

さらに、11月8日追及された安倍首相「招待者の取りまとめなどには関与していない」と答弁しましたが、20日には「私自身も推薦者について意見を言うこともあった」と関与を認めました。いつもの安倍首相得意のウソとごまかしが明らかになりました。

そして、さっさと「来年は開催せず」と決め、国民の批判を逃れようとしています。これを許してはなりません。世論調査では、安倍首相の「桜を見る会」についての説明には「納得できない」が68%(朝日)に達し、内閣支持率は6ポイント低下(読売)しています。国民は怒っています。ロッキード事件の田中角栄氏と同様に、辞任に追い込もうではありませんか。

皆さん、その安倍首相が執念を燃やしているのが憲法改正です。臨時国会では、与党は憲法審査会を動かす隙あらば自民党の改憲条文案の提示を狙っていました。そのため、憲法審査会での国民投票法改正案の審議・採決を求めました。それに対して、野党は国民投票法を改正するというのなら、CM規制問題などを審議するべきと求めましたが、与党は拒否したままでした。

結局、昨年につき、今年の通常国会、臨時国会を通じて、憲法審査会で自民党改憲条文案の提示、改憲論議を許しませんでした。この成果を勝ち取ることができたのは、改憲を強行しようとする安倍政権に対する国民の「安倍政権下での改憲反対」の世論の力です。全国各地で取り組まれた安倍改憲反対の全国3000万人署名運動の広がりが大きな力となりました。しかし、安倍首相は改憲を諦めていません。引き続き、「戦争だけはイヤだ」と言う声を署名に集めて、安倍改憲反対の声を示そうではありませんか。

そして、消費税増税をはじめ、食の安全を脅かして経済主権を破壊する日米貿易協定の承認、教育に大きな弊害をもたらす1年単位の変形労働時間制導入など、あらゆる分野で国民の生活破壊の悪政をすすめる安倍政権を退陣に追い込もうではありませんか。憲法を実現する政治に変えようではありませんか。